



園だより7月号

令和7年7月2日 認定こども園真岡ひかり幼稚園
<http://www.shougonji.ed.jp>
ユーザー名 : hikari_kindergarten
パスワード : mohikari0408
e-mail : hikari1@shougonji.ed.jp



7月の徳目：布施奉仕（ふせほうし）

7月の目標：正しい言葉で誰とでも仲良くしよう。

7月のねらい：正しいことば、美しいことばは、相手の気持ちを和らげることを知り仲良く生活を送れるように努める。



言葉づかいを漢字で書くと「言葉使い」ではなく「言葉遣い」だそうです。道具を「使う」ではなく、気遣い・心遣いの「遣う」という漢字で表すようです。7月の徳目は『正しい言葉で誰とでも仲良くしよう』です。正しい言葉とは?はて、どのような言葉でしょう。喜怒哀楽によって言葉の表現も様々だと思います。一呼吸置いて心を落ち着かせて言葉を発せば、美しく優しい言葉になるのではないかでしょうか。

先日、電車に乗る機会があって車内をキヨロキヨロ。行き先の電車によって中吊り広告の数の違いに気づき、しばらくして乗り換え、中吊りの数が多くありその中で気になった中吊り広告がありましたので紹介します。

○お父さんとしての価値観をインタビュー○ と題して

【失敗させないことより、失敗を恐れさせないこと】

「子どもが親元で暮らしている間は、自由に失敗できる期間だと思います。」そう語るのは20代の息子が2人いる50代のお父さん。たくさん挑戦しながら成長してほしいから。失敗したことを叱るのではなく、挑戦したことを褒める、どうやって成功させるかと一緒に考えることを大切にしていたそうです。失敗しないように手を差し伸べたくなるのが親心ですが、勇気を持って子どもの失敗を見守る考え方も素敵だと考えるお父さん研究所です。

「失敗」と聞くとえっ！！と感じてしまいますが、失敗ととらわれず「子どもが色々な経験」をしている、ととらえるといいですね。



もう一つこんなお話もあります。

失敗は「学び」のチャンス

「失敗は成功のもと」とよく言われているように、失敗はなにかを成し遂げるためのひとつの過程です。

最初からなんでも上手にできることはないので、すべては失敗経験からはじまると考えられます。子どもは「失敗」から多くのことを学び、次にどう生かすかを試行錯誤する中で、成長していきます。

筆者の息子は5歳の時、洋服のボタンをうまく留められない時期がありました。何度も失敗を繰り返すうちに、息子はうまくできることにイライラして、ボタンがついた洋服を避けるようになりました。

筆者はそのたびに「穴の方をボタンに引っかけるようにしてごらん」とボタンの留め方を丁寧に説明したり、「あと少しだね」「ボタンを留めるのって難しいよね」などと息子の気持ちに寄り添い、励ましたりしながら、練習しました。するとある日、息子は「できた！」と満面の笑みで、ボタンをかけた服を見せてくれたのです。その表情は自信に満ちており、「失敗してもやればできるんだ」と実感した様子でした。

時間はかかりますが、失敗の積み重ねが成功につながります。「子どものために」とつい手を差し伸べたくなる瞬間もあるかもしれません、お子さんを信じて、失敗経験を見守っていきましょう。

失敗を乗り越えることで「生きる力」が身につく

失敗と向き合い、乗り越えることで身につく力もたくさんあります。

具体的には、

- ・ 「悔しい」「悲しい」などの気持ちを切り替える力
- ・ 周りの人が失敗したときに、気持ちを思いやる力
- ・ 失敗から立ち直る力
- ・ 試行錯誤して取り組み、やり抜く力
- ・ 次に挑戦するときに不安に打ち勝つ力

などが挙げられます。

失敗を通して身に付く力は、さまざまな物事に前向きに向き合い、たくましく生きる力になるでしょう。





【プール掃除 6/4・プール開き 6/9】年長組はプールの中やプールサイドの椅子、すのこを年中組は水遊び用のおもちゃを綺麗にしました。怪我をしたり、危険のないようにしっかりとプールの仏様、プールの神様にお願いをしました。消毒をして足のみ浸かってプールを1周しました。



【マックス号長い間ありがとうございました】6/11(水)に自動車整備士さんがマックス号を取りにきました。その前に子どもたちはありがとうございましたのお礼をしながら、乗車したり記念写真を撮ったりしながら惜しむ姿が見られました。バスでの通園数も年々少なくなってきたので、今年3月で通園バスは廃止になりました。園外散歩や園外保育などで使用はしていましたが維持管理等を考えマックス号を廃止にしました。長い間ご苦労様でした。

【ファミリーデー6/7(土)】雨の心配もなく、天気に恵まれ親子で楽しむことができたようですね。前半は職員の講話、後半は各学年ごとの活動を親子で行いました。年少組：製作をした後、実際に製作したものを使って園庭で遊びました。年中組：サッカー場を使って、ミニ運動会。年長組：近くの鬼怒川水辺観察公園（通称トンボ池）で生き物探しをしました。こども園での子どもの様子が少しでも見られたことはとても良いことです。これからも、成長を見守ってください。



【じゃがいも堀 6/19(木)】幼児部のじゃがいも掘り。ボランティアの方にもお手伝いして頂きました。こども園から近い畠なので行きは歩いて行こうと計画は立てましたが、あまりにも暑いので行き帰りバスで行きました。あっという間に着きました。初めはどこにあるのかわからない様子の子もいましたが掘り出すとじゃがいもが出てきて、自分で掘ったじゃがいもは自分で持ってきた袋に入れて持ち帰ります。（地域解放事業）



【宇都宮動物園遠足】6/17(火) 年長組と年中組の遠足で宇都宮動物園に行ってきました。餌をあげるのに、口までなかなか届かず悪戦苦闘とドキドキ。やっと届いて動物が食べると嬉しい気持ちに。暑さで動物も動きがゆっくりだったようです。キリンの赤ちゃんには会えませんでしたが、カピバラの赤ちゃんには会えました。



【年中組】笑顔いっぱいの年中組。楽しい時は思い切り笑い、活動に取り組むときは真剣に取り組みます。笑いは健康にいいと言います。たくさんの楽しいことを進んで行い、たくさん笑って元気に過ごていきましょう。



【0.1.2歳児組】室内活動も外遊び活動もいつも元気に楽しくする姿が見られる乳児部です。室内遊びでは保育者がその日の活動の教材を用意していると、興味津々で集まってきます。1回での活動では納得いかず、何度もやろうとしてその場から動こうとしない姿もしばしば見受けられます。0.1.2歳児、年齢は低いかもしれません、意思表示はしっかりします。こども園での楽しさもわかっているようです。



【年少組】この日は朝から晴天となり熱中症対策をとりながら前回の活動シャボン玉遊びから発展した活動になり洗濯ごっこへ、となりました。真剣に洗い、真剣に干す姿はお家の人のようですね。しっかり乾くまでは行きませんでしたが、楽しくできました。片付けも最後まで自分達で行いました。